

1. (NHKデスク) 地銀のあるべき姿は？

(森 俊彦 会長) 地銀に今求められている役割は、ずばり、共に伴走する、伴走型の支援。今、お金を付けるだけではなくて、稼ぐ力を如何に付けるかが重要だ。特に、中小企業に伴走して新たな販路拡大など資金需要を生み出す。それが地域の好循環を生んでいくというふうを考えている。

2. (NHKデスク) 新型コロナウイルスへの対応は？

(森 俊彦 会長) 先ずは、融資で廃業とか倒産、そこを防ぐ、同時に、返済のための伴走をして稼ぐ力を付けていく。実際に危機に直面して新たなニーズが出てきている。レストランから弁当屋さんに衣替えしながら、ご家庭に届けるバイク便と結びつける。そういった知恵・工夫を金融機関が社長と一緒に考えていく。伴走型支援で資金需要を生み出していく。地元のために何が出来るかを知恵を出し合い刺激し合うことで、地銀が、そして地域が活性化していくことを期待したい。

